

【国語・小1・「くじらぐも」】①

育成を目指す資質・能力

(知識及び技能)かぎ(「 」)の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。(1)ウ
語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(1)ク
(思、判、表等) 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。C1
(学びに向かう力、等) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

ICT活用のポイント

全体で考えを共有し、友達の考えの良さを見つけるための授業

【とらえる】

本時のめあてをつかむ

くじらぐもにのって はなして
いることばを かんがえよう

【考える・伝える】

着目した文や挿絵に印をつけて、
吹き出しの言葉を考える。
全体の考えを共有し、友達の考
えの良さを見つける

【まとめる】

ふきだしの言葉を入れながら、ま
とめの音読をする

事例の概要

- 学習支援ソフトのスタンプ機能を使い、印をつけ提出したあと集計機能でクラス共有する。
- ワークシートに記入したものを写真撮影し、学習支援ソフトを使い共有することで友達の考えを知る。

【事例におけるICT活用の場面】①

- 学習支援ソフトのスタンプ機能を使い、着目した叙述や挿絵の1カ所に印をつけ、教師に提出する。
- スタンプ集計機能を使い、全員のスタンプがついた画面を提示する。
- 児童がつけたスタンプをもとに、吹き出しの言葉はどこをもとに考えたかを問いかけることで、叙述と関連づけながら具体的に想像を広げられるようにする。

【事例におけるICT活用の場面】②

- ワークシートに記入したものを写真撮影し、学習支援ソフトを使い提出することで、全体で共有する。
- 友達の考えを確認し、良いと思うものに「拍手ボタン」を押す。

【国語・小1・「くじらぐも」】②

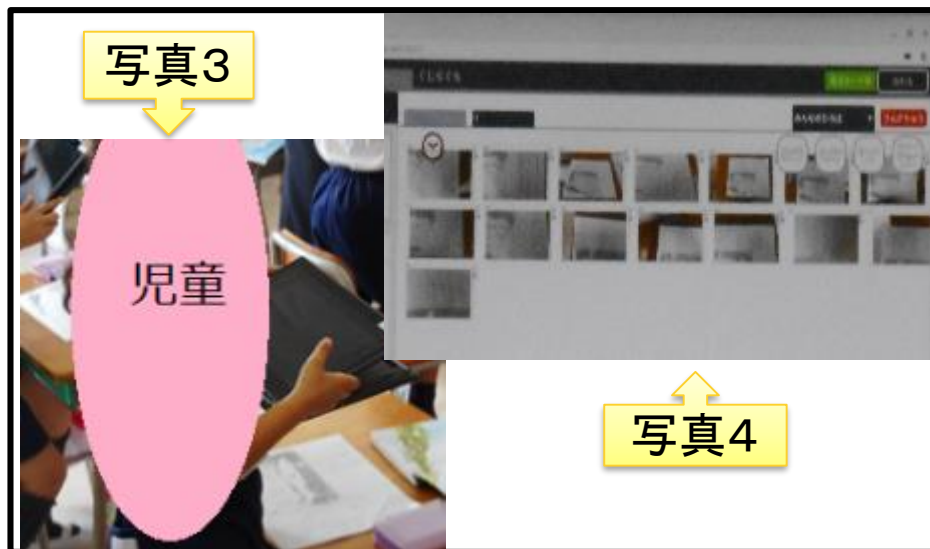
【事例におけるICT活用の場面①】



児童が学習支援ソフトを使いスタンプを押す場面では班ごとに色の異なるスタンプとした。何度もやり直しができるので、児童は色々な場所を考えながらスタンプを押していた。(写真1)

教師がスタンプを集計し、特定の場所にスタンプを押した児童を意図的に指名することで、児童は挿絵を隅々までよく見るようになった。児童は、挿絵に色々な絵が描かれていることに気づくようになった。(写真2)

【事例におけるICT活用の場面②】



児童がワークシートに書いた内容を写真に撮り、学習支援ソフトを使い教師に提出する。(写真3)学習支援ソフトを使用することで簡単に提出でき、また、提出された物は簡単に共有できる。児童は、他児のワークシートを見ながら、自分と同じ考えや異なる考えを意図的に見つけていた。(写真4)

【活用したソフトや機能】

・カメラ ・学習支援ソフト